

# 桜蔭会奈良支部だより (2024年度)



2024年12月 石舞台古墳と二上山

## <Contents>

○奈良支部長ご挨拶 ○奈良支部総会報告 ○大和郡山盆梅展見学 ○データでみる奈良支部 ○編集後記

## 奈良支部長ご挨拶

私は、2023年度から桜蔭会奈良支部の支部長を務めさせていただいています。昭和54年哲学科卒の廣岡敏美と申します。奈良支部だよりWeb版を制作するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

支部長になり、奈良支部関係書類を引き継いだ際に古いノートが目に留まりました。中を確認すると、昭和55年当時の支部長記録ノートでした。主に支部総会について書かれており、支部会員の住所をはじめ、転出入やご結婚等の情報も記載されていました。私についても書いていただいていたので、若い頃のことを懐かしく思い出しました。

手書きで丁寧に作成されたこれらのノートは、



桜蔭会奈良支部の先輩諸姉の活動を知ることができる貴重な史料であり、残していけたらと思っています。

さて、奈良県といえば鹿、大仏というイメージが強いと思いますが、奈良県にはこれらの他にも様々な見どころがあります。ガイドブックに載らないリアル奈良県についてご紹介させていただく機会があればと思います。

冒頭の写真は、紅葉の写真を撮りに行ったのに、「かなり控え目の秋」感が強い明日香、石舞台古墳です。私は、背景に二上山にじょうさん（大津皇子のお墓があります）が映り込むこの角度からの石舞台が大好きです。春には桜、夏には二上山に沈む夕陽、冬には雪と、様々に表情を変える石舞台が楽しめます。

今後ともよろしくお願いたします。

## 桜蔭会奈良支部総会報告

2024(令和6)年度桜蔭会奈良支部総会を6月15日(土)に奈良町あしびの郷で開催しました。週間天気予報ではずっと雨マークが出ていたにもかかわらず、幸いこの日はお天気に恵まれました。会のあともおしゃれなお庭で時間を忘れておしゃべりが続き、記念撮影もできました。

### 【総会議事】

1. 2023(令和5)年度活動報告
2. 2023(令和5)年度会計報告
3. 次期役員紹介
4. 慶弔報告

卒業後55年の会員の方お二人にお祝いのメッセージとともに記念品をお送りいたしました。

### 5. 自己紹介・近況報告

自己紹介・近況報告になると壇を切ったようにお話がはずみました。奈良にいられて頑張っておられるご様子が大変よく伝わってきて、おひとりおひとりのお話に聞き入りました。また、「桜蔭会創設120周年記念エッセイ」を書いてくださった会員の方が、お母さまの遺品である女高師時代の写真集をお持ちくださいました。皆さん熱心にご覧になっていました。正門から本館のあたりが現在とほぼ変わっていないことに驚きました。先の大戦にも耐えて、今の姿があるのだと思うと、次世代につなぐことの大切さを感じました。

### 6. 審議事項

10月から郵便料金が値上がりする。総会案内等の郵送をどうするか。→奈良支部会員に案内等の送付方法についてのアンケートをとる。

総会議事終了後に、卒業生で、奈良県消費生活センター 消費者教育コーディネーターをされている会員の方(S59 家経)が講演をしてくだ

さいました。最近の消費者トラブルの事例紹介と対応方法についてのお話でした。パワーポイントを用いて分かりやすく、また動画も見せていただき、本当は怖いお話なのに楽しい講演でした。

## 大和郡山盆梅展を見学しました



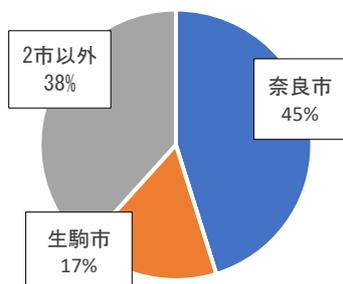
2025年2月、奈良支部の皆さんで大和郡山の盆梅展に行きました。来年の大河ドラマ『豊臣兄弟!』で盛り上がっている郡山城の櫓やぐらの中での盆梅は素敵でした。また、カフェでもおしゃべりの花が満開で、とても楽しかったです。

## データでみる奈良支部 2024

「奈良支部だより」には、会員の近況を掲載させていただいているのですが、「奈良支部にはどのような方がおられるのだろう」とお思いの方も少なくないと思います。昨今、個人情報の取り扱いは厳しくなっており、支部会員の名簿はお送りしていません。そのようななか、三重支部の支部だよりに「データでみる三重支部」が掲載されているのを拝見しました。奈良支部の現状を数値化するとどうなるのだろうと思い、「居住地」「出身学部」「卒業年」という指標で見える化を試してみました。

## 1 奈良支部会員の居住地

右のグラフは、奈良支部会員の居住市町村別割合を示しています。奈良支部会員の60%を超え



【奈良支部会員の居住市町村別割合】

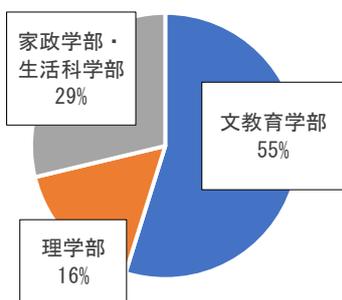
る方が奈良市、生駒市に居住されていることがわかります。

この2市以外では、大和高田市、大和郡山市、天理市、橿原市、桜井市、五條市、御所市、宇陀市、三郷町、斑鳩町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、吉野町、十津川村に会員がおります。

参考までに、奈良県総務部知事公室政策推進課のデータによると、令和6年4月1日現在奈良県の人口は1,288,599人です。そのうち奈良市348,085人、生駒市114,579人。両市をあわせると462,664人で、奈良県全体のおよそ36%を占めています。

## 2 奈良支部会員の出身学部

右のグラフは、奈良支部会員の出身学部別割合を示しています。文教育学部55%、

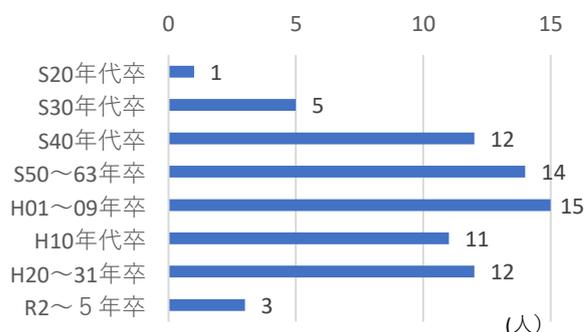


【奈良支部会員の出身学部】

理学部16%、家政学部・生活科学部29%の割合です。

奈良支部では半数を少し超える会員の方が文教育学部出身です。

## 3 奈良支部会員の卒業年



上のグラフは、奈良支部会員の卒業年の分布を示しています。昭和、平成、令和それぞれ10年ごとに分けてその人数を棒グラフで表してみました。なお元号が変わるときは前の元号に含めました。

このグラフからは、いずれの年代にもほぼ満遍なく会員の方がいらっしゃるのことがわかります。昭和40年代以降については、だいたい1年につき1～2名の卒業生の方が奈良県内に居住されているのではないかと考えられます。

### 編集後記

2024年6月に支部総会を開催し、7月に紙媒体で奈良支部だよりを発行しました。支部会員のお名前やお写真、近況報告など個人情報満載なので桜蔭会HPへの掲載はできないと考え、今年をあきらめようと思っていました。しかし、「今頑張らないと来年も無理かもしれない」と思い直したのは師走が近づいてきたころでした。

何とか今年度中に桜蔭会HPの支部紹介のページに掲載できてほっとしています。

(ト)